

自然と文化科 活動記録

一泊旅行二日目

日時	2025 年 6 月 13 日 金曜日 晴れ	担 当 者
場所	福井県立恐竜博物館・大本山永平寺	文：写真 藤本純子
備考	参加者数 47 名 (1 班 13 名、2 班 13 名、3 班 9 名、4 班 12 名)	



早い梅雨入りの今年、梅雨の合間の 2 日間の晴れ間。幸先が良い。前泊のホテルを 9 時に出発し中部縦貫道を通って大野 IC で降り、福井県立恐竜博物館に向かう。

福井県に入ると様々な所で恐竜が出迎えてくれる。駅のベンチでも田んぼでも 2 階の壁面でも。恐竜の足跡について行くと博物館に誘導されとか。ダンダンと気持ちが盛り上がって来る。大きな銀色のドーム前の広場に立つと様々な恐竜、恐竜、恐竜。どこで写真を撮ろうかと悩むが、施設名前で集合写真を撮って 10 時前より約 1 時間自由見学になる。

入った所が 3 階で長いエレベーターで 1 階に降りる。

展示場に着く迄の通路にも珍しい展示が有り、館内余すところ無く楽しませてくれる。

メインホールでは恐竜が吠えながら動いている。

その周りにも様々な展示が一杯！ 残念ながらここだけでは無いので足早に次に進む。

スロープで館内を見下ろしながら上がって行くと全体が見られて楽しい。

上の階ではシニア自然大学に入って良く耳にする様になった白亜紀・ジュラ紀・三畳紀の動物と植物が共に展示されていてとても分かり易い展示で良かった。

来場者を楽しませ様としている館を後に次の予定地に進む。

大本山永平寺に 11 時 40 分より 1 時間の予定で参拝。敷地に入るだけで厳粛な気分になる。谷坂クイズにも出てきた傘松閣の天井絵を見に行く。何を見ているのかと予備知識の無い(?) 観光客が尋ねに来る。

その後順路に沿って観賞する。長い廊下がどこも鏡の様。ふと気が付くとどこを切り取っても絵になる景色。さすが永平寺と感心する。時間になり振り返りながら帰路につくが、しっとりと落ち着く訪問地でした。

西梅田に予定の 18 時過ぎに帰着する。

所感 無関心な人も虜にする処と荘厳な処。帰路の車中からの沢山のアブラギリの花。みんなの記憶に留まった事でしょう。良い旅でした。

